

滋賀県の地震

令和7年(2025年)8月

目次

1 滋賀県の地震活動

(1)震央分布図	-----	1
(2)概況	-----	1
(3)断面図	-----	2
(4)滋賀県で震度1以上を観測した地震の表	-----	3
(5)滋賀県で震度1以上を観測した地震の震度分布図	-----	4

2 琵琶湖西岸断層帯周辺の地震活動

(1)震央分布図・時空間分布図・地震活動経過図	-----	5
(2)概況	-----	5

3 地震一口メモ

地震と土砂災害について	-----	6
-------------	-------	---

「滋賀県の地震」は彦根地方気象台における地震業務の一環として、県下の皆様に県内の地震活動状況をお知らせするとともに、防災知識の普及に努め、皆様のお役に立てることを目的とし、毎月刊行しています。

「滋賀県の地震」は上記目次で構成し、適宜地震活動把握のための解説資料や用語解説等を掲載します。本資料に関する問い合わせは「彦根地方気象台（電話 0749-22-6142）」にお願いします。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

滋賀県内の震度情報発表地点は彦根地方気象台ホームページに掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/hikone/seismo/seismo.html>

本資料の震源要素及び震度データは、後日再調査の上修正されることがあります。

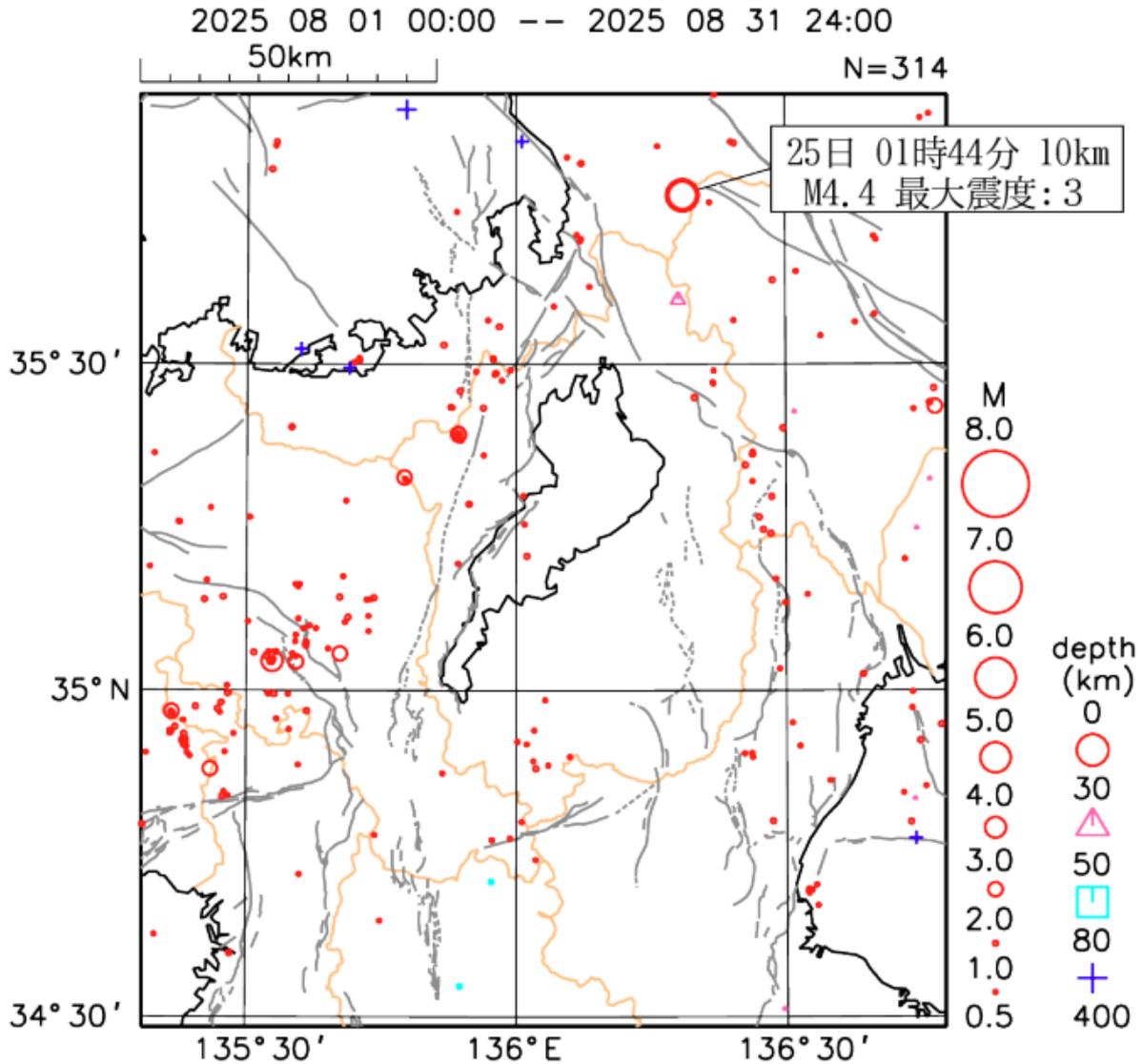
全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。以下のアドレス「地震・津波・火山」からお知りになりたい項目をクリックしてください。

<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html>

彦根地方気象台

1 滋賀県の地震活動(令和7年8月)

(1) 震央分布図



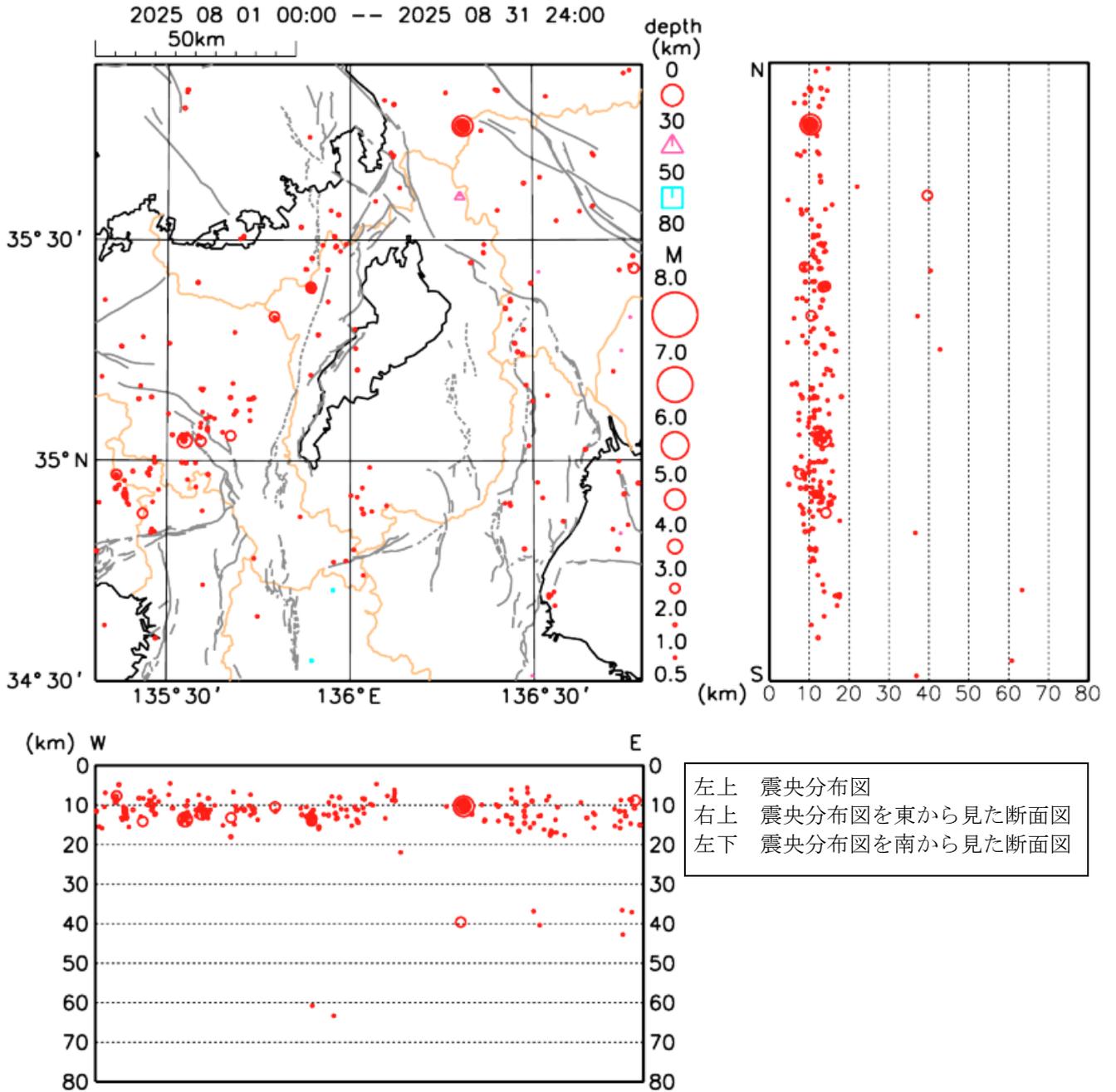
(2) 概況

8月に震央分布図の範囲内におけるM2.0以上の地震は22回(前月13回)でした。滋賀県内で震度1以上の揺れを観測した地震は1回でした(前月1回)。

滋賀県内で震度1以上を観測した地震は、以下の通りです。

25日01時44分 福井県嶺北の地震(M4.4): 長浜市、高島市、米原市、大津市、近江八幡市、東近江市、竜王町で震度1

(3) 断面図(深さ 80km までの地震)



【解説】

深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km～約 60km に分布している地震は主として沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

(4) 滋賀県で震度1以上を観測した地震の表

発震日時 各地の震度（滋賀県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
-------------------------	------	----	----	----	---------

2025年08月25日01時44分	福井県嶺北	35°45.5' N	136°18.5' E	10km	M4.4
-------------------	-------	------------	-------------	------	------

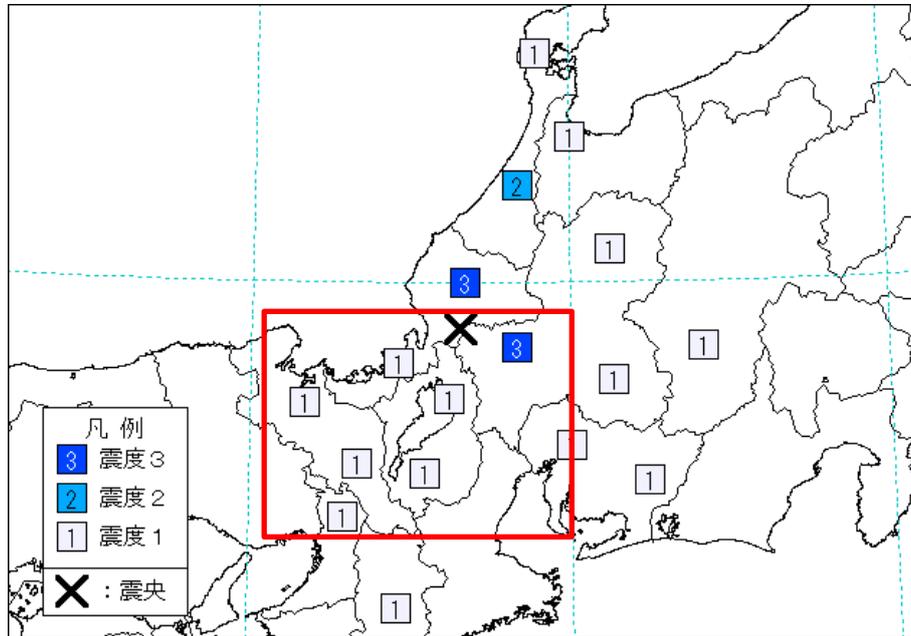
----- 地点震度 -----

滋賀県 震度 1：長浜市木之本町木之本*、長浜市余呉町中之郷*、長浜市西浅井町大浦*
 長浜市宮部町*、長浜市難波町*、高島市朽木柏*、高島市朽木市場*、高島市勝野*
 米原市米原*、大津市南郷*、**近江八幡市桜宮町**、近江八幡市出町*、竜王町小口*
東近江市君ヶ畑町、東近江市市子川原町*、東近江市躰光寺町*

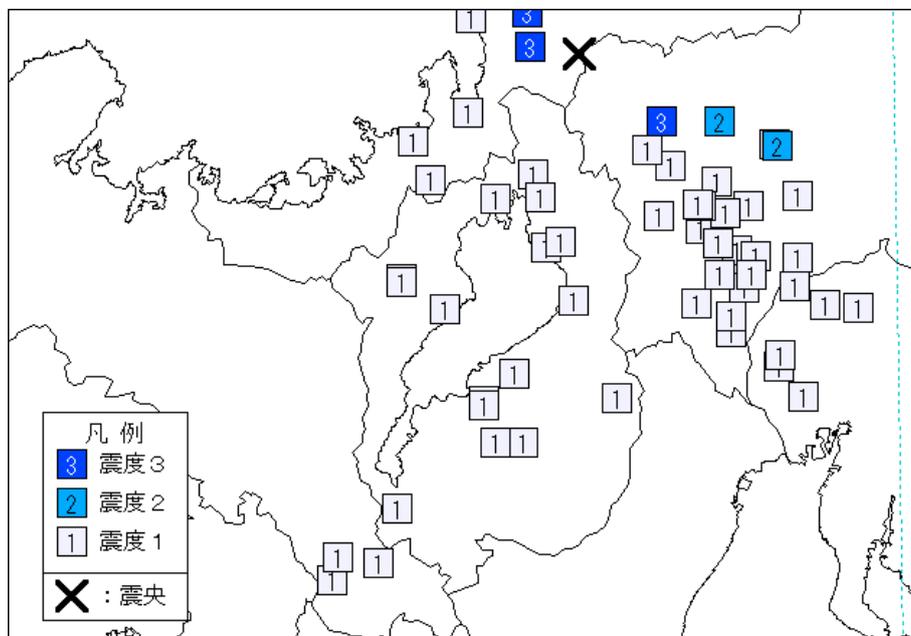
※ **太字**の地点は気象庁の震度観測点、名称の末尾に*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

(5) 滋賀県で震度1以上を観測した地震の震度分布

2025年8月25日01時44分 福井県嶺北 (M4.4)



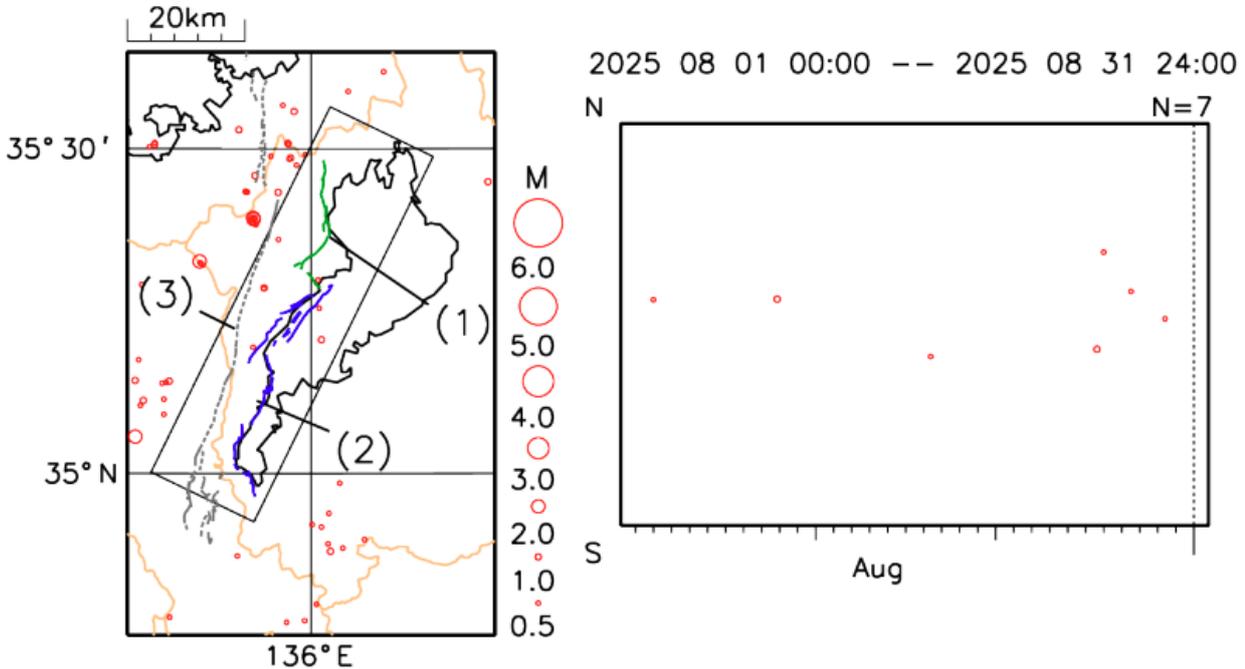
各地域の震度



各観測点の震度 (各地域の震度の赤矩形領域内)

2 琵琶湖西岸断層帯周辺の地震活動(令和7年8月)

(1) 震央分布図・時空間分布図・地震活動経過図(深さ 30km までの地震)



(上) 震央分布図

深さ 30km 以浅の地震を表示。断層帯に沿った矩形領域内の地震の活動経過を右に表示。

図中の太線は、断層帯の概略位置。線種は活断層の存在の確実度(実線部>破線部)を表しています。

- (1) 琵琶湖西岸断層帯北部
- (2) 琵琶湖西岸断層帯南部
- (3) 三方・花折断層帯

(右上) 時空間分布図

震央分布図の矩形領域内の地震を南北の軸(縦軸)に投影し、横軸に日時をとり、それぞれの地震を表示した図。

(右下) 地震活動経過図(規模別)

震央分布図の矩形領域内の地震について、縦軸にマグニチュード、横軸に日時をとり、それぞれの地震を表示した図。

琵琶湖西岸断層帯について

琵琶湖西岸断層帯は、滋賀県高島市(旧マキノ町)から大津市国分付近に至る断層帯です。全体として長さは約 59km で、北北東-南南西方向に延びており、断層の西側が東側に対して相対的に隆起する逆断層です。

琵琶湖西岸断層帯は、断層帯北部と南部の2つの区間に分かれて活動すると推定されますが、全体が1つの区間として活動する可能性もあります。

断層帯北部では M7.1 程度の地震が発生すると推定され、今後 30 年以内にそのような地震が発生する確率は 1~3% と推定されます。

断層帯南部では M7.5 程度の地震が発生すると推定され、今後 30 年以内にそのような地震が発生する確率はほぼ 0% と推定されます。

(地震調査研究推進本部の長期評価(2009)による。ただし、地震発生確率の算定基準日は 2025 年 1 月 1 日。)

(2) 概況

8月に震央分布図中の矩形領域内で観測された M2.0 以上の地震は 0 回(前月 2 回)で、同領域内の地震で震度 1 以上の揺れは観測されませんでした。

3 地震一口メモ

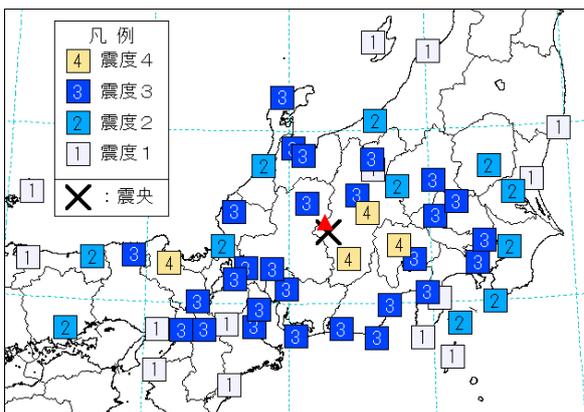
地震と土砂災害について

気象庁では、震度5弱以上の地震が発生した時には「揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどが起こりやすくなっている可能性がありますので、今後の地震活動に注意してください。」など土砂災害などに対する防災上の留意事項を報道発表資料や記者会見で呼びかけています。

地震による強い揺れと大雨は、それぞれ単独で土砂災害を引き起こすことがあります。双方の要因が重なって土砂災害が起こる場合もあります。例えば、地震による強い揺れで地盤が緩むと、普段なら土砂災害が起こらないような少しの雨でも、災害が発生する可能性があります。また大雨で地盤が緩んでいるときに強い揺れを伴う地震が起こると、土砂災害が発生しやすくなります。

例えば、1984年9月14日08時48分に発生した「昭和59年(1984年)長野県西部地震」では震源近くの御嶽山*¹で大規模な斜面崩壊(御嶽崩れ)が発生したほか、地すべりや土砂崩れなどにより死者29人、負傷者10人、住家全壊14棟などの被害(日本被害地震総覧による)となりました。御嶽山では、地震発生5日前の9月9日に119mmの大雨が降り、数日前からの断続的な降水が大規模な山腹崩壊・土石流を発生させた誘因の一つと考えられています。また、「令和6年能登半島地震」では2024年1月1日に発生したM7.6の地震により能登半島北部の広い範囲で土砂災害が発生しましたが、同年9月21日に輪島市、珠洲市、能登町に大雨特別警報を発表するような大雨となり、災害からの復旧途中の被災地で再び広範囲の土砂災害が発生しました。防災科学技術研究所*²による解析では地震による発生場所に隣接した箇所でも大雨による土砂災害の発生が多く見られることなどが分かっています。

- * 1 : 御嶽山は活火山で、2014年9月27日の水蒸気噴火では死者・行方不明者63人の被害(消防庁による)があった
- * 2 : 正式名称は国立研究開発法人 防災科学技術研究所



長野県西部地震における各観測点の震度
(▲は御嶽山の位置)



「資料集 御岳崩れ」から発生直後の様子
(国土交通省中部地方整備局 HP より)

気象庁は、地震による強い揺れ(震度5強以上)を観測した市町村に対し、土砂災害警戒情報や大雨警報・注意報(土砂災害)の発表基準を引き下げる運用を行っており、事前に地元気象台と都道府県などの関係機関との間で調整をしています。8月末現在では「令和6年能登半島地震」や7月のトカラ列島近海の地震などでこの措置が取られています。

長野地方気象台HP「昭和59年(1984年)長野県西部地震」

<https://www.data.jma.go.jp/nagano/shosai/kazan/1984naganoseibu.html>

国土交通省中部地方整備局HP 多治見砂防国道事務所 - 「資料集 御岳崩れ」

https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/special_content/pdf/pamphlet/sabo_07.pdf

防災科学技術研究所HP 令和6年9月能登半島豪雨による土砂流出推定範囲 - 石川県能登半島北部-

https://mizu.bosai.go.jp/key/2024Noto_2